

おけのこ

第35回 府内戦紙 (大分市)

2019年 第2回 定例県議会

おおいた創生の加速前進

新産業開拓へ向けた先端技術への挑戦
県民の命と暮らしを守る強靱な県土づくり

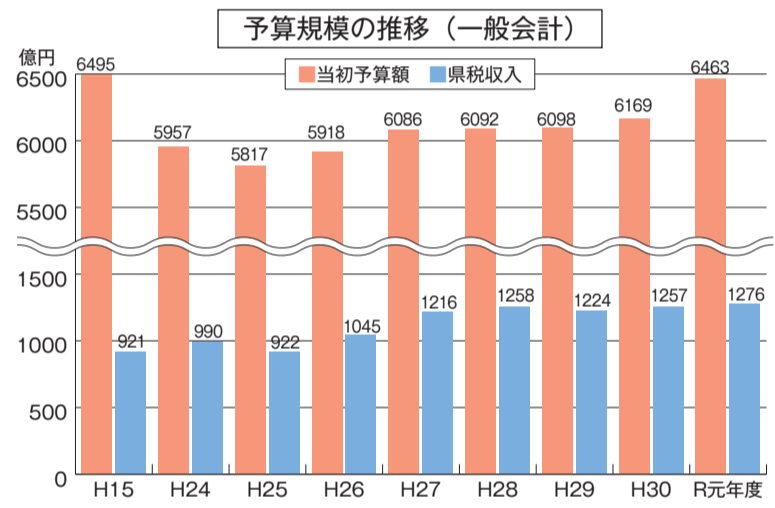


知事選を終え、広瀬県政五期目がスタートしました。今回の補正予算の提案にあたり、知事からは「県民中心、県民の心を心として、令和の新时代に、誇りある大分県の未来を切り拓く」との意気込みが述べられました。知事選を受けての「肉付

▼新時代に誇りある大分県の未来を切り拓く

け予算」は、次の三つの基本的な考えに基づいて編成されています。一つ目は、大分県版地方創生の加速前進です。本県においても少子高齢化、人口減少は顕著であり、引き続き重要課題として取り組む必要があります。二つ目は、先端技術への挑戦です。IoTや人工知能などの先端技術は、劇的な速さで進歩を続けています。第四次産業革命の波に乗って、地域の課題解決や新たな産業を開拓し、本県のポテンシャルを高めなければなりません。三つ目は、災害に強い強靱な県土づくりです。頻発する自然災害や心配される南

海トラフ地震に備え、県民の生命や財産を守る防災・減災対策も重要な取り組みです。



健全財政維持の努力を

今年度予算額は、今回議決された六四七億六三〇〇万円の補正予算を加えた総額で六四六三億四二〇〇万円の積極予算となりました。前年度比四・八%増と、左の図のとおり、近年にない伸びを示しています。一方、県債(県の借金)残高は、七年ぶりに前年度比で残高総額が八十億円増加しています。国からの財源補填も予定されるとは言え、健全財政が維持できるような引き締めが必要です。さて、この秋に開催されるラグビーW杯もいよいよ目前となりました。全国そして世界中からの来県者を「おもてなし」し、「大分での試合が最高だった」と思われるよう、県民の心を一つにして成功させ、大分の活力につなげていかなければなりません。

2019年度補正予算と事業概要

*人口減少対策関連事業から抜粋

2018年10月の大分県人口推計では、本県全体で8,910人の人口減(過去一年間)と報告されました。内訳は、自然減6,217人、社会減2,693人ですが、県人口ビジョンとの比較では、社会減の実績値が見込みを上回る減少を示しています。今回議決された補正予算では人口減少対策として、23事業に対し11億5,931万円が追加されました。その事業を抜粋して説明します。(予算額は当初予算と合算した累計額)

社会減対策 移住・定住の促進や産業人材の育成等 (16事業)

- 1. 移住者居住支援事業**
本県への移住を促進するため、県外からの移住者へ住宅の新築費用等を支援する市町村に対し助成する。【122,388千円】(助成限度額)・新築 →180万円・購入 →185万円・空き家改修等 →195万円・賃貸(引越費用等) →105万円
*賃貸の場合の支援メニューに「家賃補助」を県独自で追加(20万円まで)
- 2. おおいた元気企業マッチング促進事業**
県内中小企業の人材確保と県内外の求職者の県内就職・定着を図るため、企業と求職者とのマッチング等を行う。【22,951千円】
 - ・マッチングサイトの開設
 - ・高校生と保護者へ県内就職広報冊子を配布

- 3. 県外若年者UIJターン促進事業**
福岡在住の若年者のUIJターンを促進するため、福岡市中心部に県内企業の情報発信や就職相談等を行う拠点を設置する。(開設予定: 令和2年4月) 【164,918千円】
*本県では福岡への若者の流出が著しい
- 4. 女性就農確保対策事業**
県内各地で活躍する女性農業者の情報発信や就農に関心を持つ女性向けセミナー等を開催する。【19,225千円】
 - ・就農セミナーの開催(2回)
 - ・インターンシップの開催(4泊5日)
 - ・独立就農の新たな研修制度の創設準備
- 5. キャリアプロデューサー活用推進事業**
工業系高校生の県内就職を支援するため、工業系高校にキャリアプロデューサー2名を配置する。【6,723千円】
 - ・県内企業への訪問及び情報収集の実施
 - ・県内企業に対する工業系高校生の資格取得情報等の発信など
- 6. 大学等連携活性化事業**
県内大学・短大への進学者の確保による大学等の活力維持や学生の卒業後の県内定着を推進するため、「知(地)の拠点」である県内大学等が行う教育・研究活動を支援する。【13,965千円】

自然減対策 子育て支援や健康寿命延伸の取組の充実 (7事業)

- 1. 大分にこここ保育支援事業**
保育を必要とする世帯の経済的負担の一層の軽減を図るため、3歳未満児の第2子の保育料を全額免除する市町村に対し助成する。【415,113千円】
 - ・対象: 認可(外)保育所、認定こども園など
- 2. 子育てと仕事両立支援事業**
出産を希望する子どもの数の実現を後押しするため、育児休業と育児短時間勤務を取得しやすい環境を整備する。【29,140千円】
 - ・育児短時間勤務を適用した事業主に対する奨励金の交付(30万円)
 - ・育児短時間勤務から続けて次の子どもの育児休業を取得した従業員に対する応援金の支給(上限30万円)
- 3. みんなで進める健康づくり事業**
温泉を活用した健康寿命延伸の取組を推進するため、入浴効果の収集・発信を行うほか、温泉を活用した健康プログラムの創出に取り組む市町村を支援する。【32,527千円】
 - ・健康アプリ(おおいた歩得)を活用した温泉の入浴効果のデータ収集と結果の発信
 - ・健康プログラムの創出支援とデータの収集

農林水産委員会 県内所管事務調査

県議会では、毎年、第2回定例会の前段に、常任委員会が県内各所管の事務・事業の調査を行います。私の所属する農林水産委員会は、15の市と町を訪問し、現地の視察、質疑・意見交換を行いました。

令和元年度 農林水産委員会 調査行程

- 6/3 【杵築市】農事組合法人東宮農組合→【国東市】ウーマンメイク(株)→県東部振興局→【日出町】(有)鈴木養鶏場
- 6/11 【佐伯市】県南部振興局→農事組合法人城村→県漁協水産物加工施設→双日北海道与志本(株)
- 6/12 【豊後大野市】JA おおいた豊肥地域ピーマン広域選果場→【竹田市】県豊肥振興局→(有)大地農場→肉用牛繁殖経営体(工藤修平氏)
- 6/18 【別府市】県農業研究部花きグループ→【由布市】経営体育成基盤整備(柚ノ木地区)→なし産地園地流動化→【大分市】県中部振興局
- 6/21 【大分市】大分ほっぺリーフ(株)→【津久見市】深良津二世養殖漁業生産組合→【臼杵市】土づくりセンター
- 6/26 【玖珠町】(有)グリーンストック八幡→【日田市】日田西瓜部会→緊急治山事業(東原地区)→県林業研究部
- 6/27 【中津市】緊急地すべり防止事業(梶ヶ原地区)→【宇佐市】県北部振興局→農業競争力強化基盤整備→宇佐ジビエファクトリー→宇佐養魚(株)

大分県農林水産研究指導センター 農業研究部花きグループ (別府市鶴見)

花き類の新たな栽培様式やオリジナル品目の開発等が行われています。こちらの研究部で開発した栽培様式が貢献し、大分県産のホオズキは、質・量ともに日本一です。



毎日一輪の花を愛でる習慣を大切にしましょう。(写真左側は県オリジナルのトルコギキョウ)

深良津二世養殖漁業生産組合 (津久見市四浦)

四浦半島でヒラメの陸上養殖が行われています。緑色のLEDライトを照射すると、通常より年間一・六倍の大きさに成長が促進

されるそうです。



(かぼすヒラメも大人気、美味しさの決め手は津久見の海水とのこと)

日田西瓜部会 (日田市山田原)

西瓜の大規模露地栽培を行う「日田西瓜部会」の中島部会長からヒアリングしてきました。日田西瓜は、百年の歴史があるそうです。



西瓜栽培は屈んだ姿勢で大変ですが、販売単価が良く売上高もかなりのものです。

県営事業「宇佐地区」農業競争力強化基盤整備 (宇佐市江須賀ほか)

大区画圃場で農業を営む若手農業者のところに伺いました。スマホやドローンなどを上手に活用して「スマート農業」にチャレンジしています。色々な工夫で、土日も休めるし、収穫後は家族とバカンスも楽しめるとのことでした。



(二枚の田んぼの面積が野球場のほぼ倍で二・五ha)

最近の動き

4月

- ▷大分県知事・大分県議会議員選挙
- ▷大分県議会議員選挙当選証書付与式
当選の栄を受け、県政の発展と真の地方自治の実現に向けて決意を新たにいたしました。
- ▷大分市長選挙
- ▷大分政経懇話会4月例会(別府市)
- ▷第90回メーデー大分県中央大会
- ▷内外情勢調査会大分支部懇談会



5月

- ▷大分政経懇話会5月例会
- ▷大分大学大学院四極青雲会記念講演会
- ▷大分県立武道スポーツセンター開館記念式典
国内最大級の木材利用の屋根構造は圧巻。最新設備のトレーニングルームも利用できます。
- ▷人権社会確立全九州研究集会(別府市)
- ▷地方自治研究大分県集會
- ▷大分県立アグリ創生塾完成記念式典(竹田市)
久住町の県立久住高原農業高校の敷地内に建設。県内の農業系学科を学ぶ高校生たちが研修を受けます。(絶好の環境です)



- ▷おおいたホームタウン推進協議会総会
- ▷NPO法人 大友氏顕彰会通常総会
- ▷大分県民体育大会・障がい者スポーツ大会合同開会式
- ▷豊肥・地域高規格道路建設促進期成会総会(竹田市)
- ▷国道210号改修促進協議会役員会

6月

- ▷各常任委員会による県内所管事務調査
- ▷大分舞鶴高校と天理高校とのラグビー交流試合
今年のラグビーW杯を控え、リニューアルされた大分市の駄原球技場。高校ラグビー伝説の名勝負と言われた35年前の花園の決勝戦と同カード。
- ▷地方議員研究会特別講座(福岡)
- ▷大分大学成和会6月例会
- ▷大分県民体育大会
- ▷県立美術館竹工芸名品展
美の殿堂と言われるメトロポリタン美術館の所蔵品が日本初公開。世界に誇れる大分の竹工芸です。
- ▷2019年度補正予算
知事説明
- ▷大分県東九州新幹線整備推進期成会講演会
- ▷NPO法人 大分市日中友好協会通常総会



竹の子記

春の統一地方選挙と夏の参議院選挙が重なる「亥年選挙」が終りました。参院選は令和改元後、初の国政選挙でしたが、全国的に投票率が低迷し、大分でも五十・五四%と過去最低を記録しました(全国では四十八・八%)。▼有権者の無関心というよりは、政治が争点や問題点を明確にせず選挙を進めるところに要因があると思えます。十月からは消費増税が無償化することばかりが喧伝され、増税二%の半分を国の借金返済に充てること、米国の武器購入を巡って、イージス・アショアの建設費やF35戦闘機の購入費も、多くは取り上げられることはありませんでした。(トランプ氏を「村度」しているのは、いったい誰?)▼投票棄権に関する命令に従わず、アメリカの人種隔離政策を変えさせるきっかけとなったロザさんの行動や、女性への教育の必要性や平和を訴える活動が続け、十七歳でノーベル平和賞を受賞したマララさんのことを忘れてはなりません▼「自分一人が投票しても世の中は変わらない」と、決して諦めないでください。間違いなく、一人の行動で世界は変わるのです。



一 警戒レベルを用いた新たな防災情報

今年も風水害が心配される季節に入りました。すでに、集中豪雨による浸水・土砂災害が各地で発生しています。

昨年7月の豪雨災害では、様々な防災情報が発信されていたものの、多様かつ難解で住民が活用できない状況がありました。

よって政府は、住民が情報の意味を直感的に理解できるよう、防災情報を5段階の警戒レベルにより提供し、住民の避難行動を支援することとしました。

このうち「警戒レベル3」は高齢者等の避難、「警戒レベル4」は全員の避難を促すもので、避難するタイミングを明確化しました。

また「警戒レベル5」は、災害が実際に発生しているとの情報で、住民に命を守る最善の行動を求める情報です。

自然災害を決して侮らず、情報を的確に判断してすぐに行動に移してください。

公式LINEはコチラ
木田昇の議会・政務活動を随時更新中。



ご意見・ご要望なども、お気軽にご連絡ください！
*お友達登録のQRコードリーダーをご使用ください

県民クラブHPはコチラ
http://www.oct-net.ne.jp/kenmin-club/

